



写大33期50周年記念写真展

芸術情報館Aギャラリー入口



東京タワーと共に50年

33期 小池 恒 裕

メディアの報道で今年は東京タワー 50周年と聞いた。ならば僕ら33期も50周年ということに気づきました。エッフェル塔を超えて

当時世界一高い鉄骨建造物となり、昭和33年完工、その高さ333m、と33期の語呂で憶えていたからです。東京タワーと共に歩いてきた50年の今年でした。

昭和33年（1958年）卒業から僕らも節目50年を迎えての今年、みんなで集まろう、と思いつき同期の仲間呼びかけて、同窓会理事を仰せつかっていることもあり、言い出しっ屁を自任して秋11月の開催予定で企画を開始、仲間の英知を借りて、写真展と総会とを連動して「33期同窓会50周年記念写真展・総会」を開催しようということになった次第です。展覧会場

も総会場も決まらないまま、とりあえず最近号のこの「ひろば」紙に予告掲載の出稿から始まりました。

出展の写真作品集めの面倒さは覚悟の上での作業でしたが、撮影本職の技術科出身者に、産業界の工業科出身者も印刷界の製版科出身者も、壁を排して作品を持ち寄り、さらには今は亡き仲間たちのプリントも承諾を得て飾りたいというスタンスを設定して進めました。

写真展会場となった母校の芸術情報館に掲示した前口上にて申し上げましたように、原点に戻り気ままな作品を自由に制作して、一堂に展示させて頂いたことで、朋友と語り合える喜びに感謝し讃え合うことができたとは心から満足しております。

（2008年11月24～30日写真展・芸術情報館Aギャラリーにて、30日総会・中野キャンパス芸術食堂にて）



写大33期卒業50周年記念 2008.11.30 於中野キャンパス



展覧会場

芸術情報館

Aギャラリー

懇親会場

中野キャンパス
芸術食堂「ルネッサンス」



作品集

松岡尚武	柴田泰彦	中村正彌	岡本広平	鷺見良秀	今井清文
稲神和子	大城英世	清宮 輝(版)	安念 勉	松月智子	小川黎子(版)
高岡直治(版)	小川忠郎(版)	斉藤 進(版)	稲垣迅一(版)	渡辺関靖	中島哲郎
高橋鋼二(工)	堀江真雄(工)	(故)橋本敬亮	(故)石井正彦	吉田貞夫(工)	永井 充
荒木祥夫(工)	島崎博晟	安本暢男	坂井敬樹	武井武彦	(故)桜井保秋
小池恒裕(版)	岡村正太郎・恵子				



松 岡 尚 武



柴 田 泰 彦



中 村 正 彌



岡 本 広 平



鷺 見 良 秀



今 井 清 文



稲 神 和 子



大 城 英 世



清 宮 輝 (版)



安念 勉



松月 智子



小川 黎子(版)



稲垣 迅一(版)



渡辺 関靖



中島 哲郎



(故)石井 正彦



吉田 貞夫(工)



永井 充



坂井 敬樹



武井 武彦



(故)桜井 保秋



高岡直治(版)



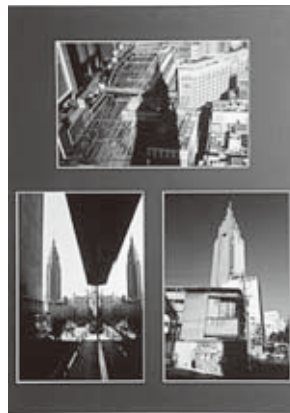
小川忠郎(版)



斉藤進(版)



高橋鋼二(工)



堀江真雄(工)



(故)橋本敬亮



荒木祥夫(工)



島崎博晟



安本暢男



小池恒裕(版)



岡村正太郎・恵子

支部だより

神奈川県支部

2008年9月20日「ナビオス横浜」にて神奈川県支部同窓会発会式を開催しました。

上は28期、下は82期までと幅広い年齢層で、多業種にわたる34名が参加しました。

平井支部長の会発足への熱き想いを込めた挨拶に続き、大学から菅原孝一理事をお招きし、「最近の大学事情」の講演は現在の大学のスライドを見ながら懐かしく当時を振り返るとともに、少子化の問題等、厳しい大学事情にもふれ、卒業生として何かできることは無いかと考えさせられた有意義なお話でした。

懇親会ではユニークな自己紹介をはじめ、とても楽しいお酒を酌み交わし、時間を忘れて（会場を延長するまでに）の集いとなりました。

そして次回の集いを約束して解散となりました。

また次回、楽しみにしています！！

大井慶子（67期）



関西支部

平成20年6月21日（土）、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し近畿各地から同窓生が参加しました。大学からは、若尾真一郎学長並びに池田陽子教授の出席を頂き、同窓会本部より花川理事の出席を頂きました。

38期滝口氏の名司会のもと、今年お亡くなりになりました22期山本氏、40期蛭川氏に黙祷を捧げ、42期駕田支部長の挨拶に始まり各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

講演会では、若尾真一郎学長より大学の近況などのお話しと大学紹介のDVDの上映を頂き、池田教授には自らの文楽について語って頂きました。また同窓会本部の花川理事には全国の同窓会支部などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り31期工藤氏の司会、29期山口氏の乾杯に始まり、新卒1名（安西巧平氏）を新たに加え、時間の経つのも忘れ、現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、新卒の安西氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。

（広報委員 工-16期 小林修一記）







また、来年の総会にてお会いしましょう。

支部だより

東海支部

山梨県支部

当支部におきましても、同窓会の開催をと考えておりましたところ、工芸大の池田陽子先生が甲府市において作品展を開催されるのを機に、同窓会準備会のかたちで開催しましたのでご報告いたします。

- ・案内状は30名に郵送
- ・参加者は、前支部長の24期若林氏から63期の市村氏の9名
- ・懇親会においては、池田先生より最近の大学の様子などをお話いただいた後、それぞれの思い出話などで盛り上がり3時間ぐらいの懇親会でした。
- ・今後のことに付きましては、1年以内に同窓会を、田沼会長、奥田副会長、細江副会長のいずれかに講師をお願いして開催したい。田沼会長は前支部長と同期生で、奥田副会長は写真館業界の大先輩、又、細江副会長は清里ミュージアムの館長であり山梨にご縁があるので清里での開催の話など、前向きに話し合いが行われました。参加者が9名と少なかったのですが、幸いに県内のほとんどの地域と、業界においても、写真館、材料商、印刷関係と今後の事を考えた場合にありがたいメンバーでした。

支部長 磯 武 (40期)



東京工芸大学





東京工芸大学同窓会
東海支部（愛知、三重、岐阜） 同窓会

東海支部では、平成20年9月6日名古屋国際ホテルにおいて、3年ぶりに同窓会を開催しました。本部からは、奥田 昇副会長をお招きしました。

東海支部では、支部会員の地元においての活躍ぶりを「ひろば」に掲載して欲しい、同窓会を毎年行って欲しい等々の活発な意見が多数出ました。

今後は、出来るだけ支部同窓会を開催して、本部、大学とのつながりをしっかりと持って、東京工芸大学の発展に少しでも役に立つように頑張りたいと思っています。

支部長 磯谷武美（36期）

石川
県支
部

田村先生・箱守さんを迎え支部同窓会総会を開く

東京工芸大学同窓会石川県支部は、平成20年9月10日に芸術学部田村寛先生と法人理事箱守健さんをお迎えし、平成20年度同窓会支部総会を金沢市内「割烹こうや」にて開催しました。総会には工学部を含め10名の会員の出席が有りました。

総会では今年度の決算報告と今後の同窓会運営について審議され、現石川県支部長小坂文誉氏（短52期）からは、支部長と執行部の交代の議案の申し出が有り、審議の結果受理された。

新支部長には、近岡房治氏（短36期）が選出され、総務には田中泰氏（工1期）、会計には山崎城一氏（応58期）が指名された。

総会後の懇親会には、芸術学部田村寛先生と法人理事箱守健さんをお招きし、大学時代の話に花が咲き、大変和やかで楽しい懇親会と成りました。

懇親会の席上先生方からは、現在の大学の様子や、同窓会の現状・同窓生の消息・活躍などのお話があり、改めて母校に対する思いが募り、先輩後輩の絆も深まりました。

懇親会の中締め堀井繁氏（短33期）が指名され、「新支部長を盛り立て同窓会の発展と活動をして行こう」とのお言葉が有り閉会となった。

東京工芸大学同窓会石川県支部 記

支部だより



総会風景

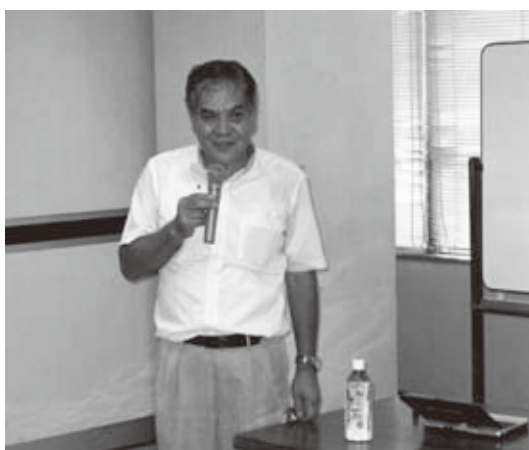
新潟県支部

新潟県支部の総会を9月4日に長岡で開催しました。午後1時30分よりこの一年間の会務報告、決算報告があり、その後、岡村征夫教授により「アナログからデジタルへ」というテーマで講演をしていただきました。

懇親会はすぐ近くの会場で開催し、出席者は16名でした。乾杯の後、恒例の近況報告を全員の方から話していただき、和気藹々のなか楽しい時間を過ごすことができました。

今回はお忙しいところ岡村征夫教授と大学同窓会本部の花川講師の2名の方にお出で頂きありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

支部長 小林俊郎 (44期)



岡村教授の講演風景



東京工芸大学同窓会 新潟県支部総会 2008年9月4日

2008年フォックス・タルボット賞

フォックス・タルボット賞は、写真表現に情熱を傾ける若い人々の新人登竜門としての機能を果たし、更には国際的視野にたつ写真家の育成を促進する目的をもって、1979年に東京工芸大学短期大学部が設けました。今回で第30回を迎えることになりました。

本賞は、ネガ・ポジ・プロセスの発明者で近代写真術の父としてのウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット氏（英・William Henry Fox Talbot 1800～1877）の偉業をたたえ、イギリスのフォックス・タルボット美術館のご協力を得て、氏の名前を冠するに至りました。

またこの賞にはモノクロ賞があります。これは同窓会九州支部の二村さんの提唱で1981年に設立され賞金が同氏より提供されていました。近年銀塩の白黒作品が減少したこともあり特別意義深い賞となっています。

本年度のフォックス・タルボット賞の応募者は84名、作品数131点となり、10月16日、4人の審査委員の先生方による厳正なる審査の結果、別記の通り入賞作品が決定いたしました。



受賞者の皆さん、おめでとうございます。この榮譽を誇りとして、今後、更なる飛躍を期待し、将来皆様の若さ溢れる作品がこの写大ギャラリーに展示されますようお待ちしております。なおこれらの受賞作品は、写大ギャラリー・コレクションとして永久保存させていただきます。





第一席 I AM A SUPERMAN (FAKE) 小浪次郎 芸術学部写真学科4年 (C)



第二席 The Individual moment 伊藤真吾 芸術学部写

フォックス・タルボ

- 第一席 I AM A SUPERMAN (FAKE)
- 第二席 The Individual moment
- 第三席 flowing tradition
- 佳作 EARNEST EYES
- 佳作 moving still life ～公園の夜に
- 佳作 Placebo
- 佳作 Taro (いえ) ～遠くでもそこを
- 佳作 Human Light
- モノクロ賞 呼吸

審査委員長 田沼武能

審査員 細江英公 中谷吉隆 立木義浩



EARNEST EYES

嶋田健一 芸術学部写真学科4年 (C)



moving still life ～公園の夜に見えたもの～

山下晃伸 大学院芸術学研究科2年 (C)



Placebo

岸 剛史 大学院芸術学研究科1年 (C)



真学科2008年卒 (C)



第三席 flowing tradition 藤井光永 芸術学部写真学科2008年卒 (C)

ット賞 作品の紹介

- 小浪次郎 芸術学部写真学科4年 (C)
 伊藤真吾 芸術学部写真学科2008年卒 (C)
 藤井光永 芸術学部写真学科2008年卒 (C)
 嶋田健一 芸術学部写真学科4年 (C)
 山下晃伸 大学院芸術学研究科2年 (C)
 岸 剛史 大学院芸術学研究科1年 (C)
 早川 圭 芸術学部写真学科4年 (C)
 中村理生 芸術学部写真学科4年 (B&W)
 別府 笑 大学院芸術学研究科1年 (B&W)
- 注 (C) はカラー作品
 (B&W) はモノクロ作品

見えたもの～

想えば還れる～



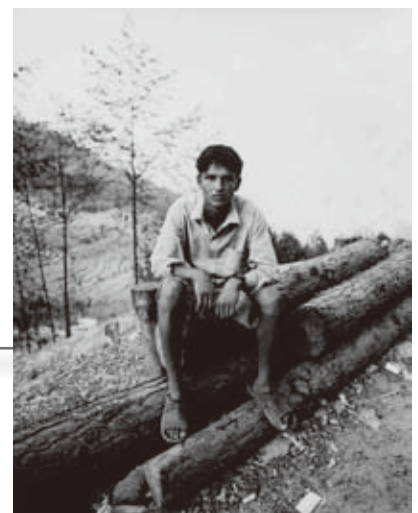
モノクロ賞

呼吸 別府 笑 大学院芸術学研究科1年 (B&W)

佳作



Taro (いえ) ～遠くでもそこを想えば還れる～
 早川 圭 芸術学部写真学科4年 (C)



Human Light
 中村理生 芸術学部写真学科4年 (B&W)

30期「旅のクラス会」平成20年5月30日(金)～31日(土)

初夏の快適な新潟に30期工業科卒業生の仲間が、新幹線、飛行機、バス、自家用車等で東京、埼玉、名古屋、大阪、兵庫、広島から今年は12名が集まり、毎年恒例の「旅の会」が始まった。

30日12時45分新潟駅集合、この時何年振りかの参加の比留間氏が一瞬判らず皆で大笑いの出来事になってしまった。幹事の曾根氏の綿密な計画により、13時マイクロバスで出発、新潟市内を見学し、弥彦山山頂に上り佐渡を見て、学習のためにSOWA美術館、史跡国上寺・五合庵で勉強し、今夜の宿、岩室温泉富士屋に到着した。宴会は新潟ご自慢の蔵出越乃寒梅の乾杯で始まった。各人が順番に過ぎし日の青春の思い出を語りお互いに納得したり訂正したりの大騒ぎになってしまい全員が終わるには2時間もかかり、折角のカラオケも役立たずのうちにお開きになってしまった。

翌日は、重要文化財旧笹川家住宅、ふるさと村を見学し、ウォーターシャトルに乗船し昼宴会で再び友と今を語り楽しかった旅の会を満喫し15時朱鷺メッセにて解散した。幹事さんご苦労さんでした。参加の小日向、加藤、福岡、今村、比留間、風呂田、松本、長谷川、河合、曾根、大澤、古屋(製版科)さん、またお会いしましょう。

来年は、風呂田氏が幹事で広島・宮島に集まりますので、同期の皆様気軽にご参加ください。

記 大澤 登(30期)



「吉村教授の退職をお祝いする会」開催

去る5月10日、内幸町アラスカ日本プレスセンター店に於きまして「吉村教授のご退職をお祝いする会」が催されました。

先生は30年余にわたり、広告写真のゼミを担当し数多くの卒業生を輩出され、日本の広告写真界において、非常に大きな役割と存在感を示されてきました。

当日は卒業生、大学関係、同期と150名以上のかたがたが参集されました。しかも、先生が担当された写真技術科5研、3研、芸術別科とどの期も欠けることなく集まっていたのは、ひとえに先生の人望と人柄ではないでしょうか。

会は鈴木英雄さん(50期)、佐藤倫子さん(67期)の絶妙な司会で進行し、細江英公先生(29期)、安達洋次郎さん(39期)、進藤博信さん(47期)のスピーチ、花束贈呈ではお嬢さんの千秋さんにサプライズ



ゲストで登場していただくなど先生がお酒を飲む事が出来ないくらい、盛りだくさんで楽しい会であったと思います。やはり、お酒好きな先生の教え子が集合しましたので、2次会では飽き足らず、3次会の新宿フランセ、4次会の新宿ゴールデン街と明け方まで30名近くの卒業生と飲み明かしました。

集合写真は、細江先生のご指導による「全員目つぶり」「全員そっぽ向き」です。

幹事代表 金澤正人(63期)

ひろはのページ

齊藤 進 (33期) 写真展

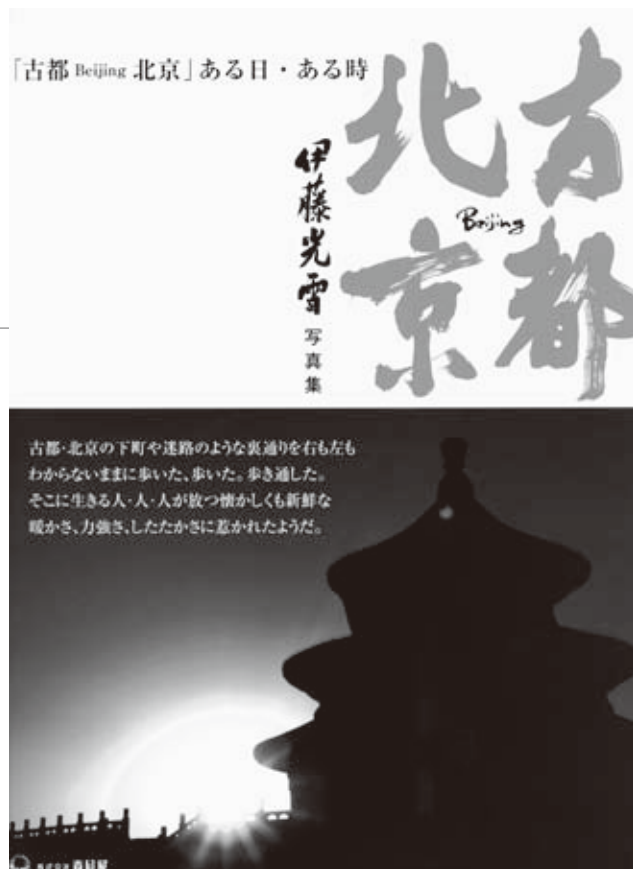
黄河の水 天上より来たる



HP 丹沢森のギャラリー <http://www5b.biglobe.ne.jp/~tanzawa/>

伊藤光雪 (34期) 写真集

「古都 Beijing 北京」
ある日・ある時





大竹静市郎 (35期)

『懐かしの昭和
新発田思い出写真帳』

出版のご案内

戦後10年経た昭和30年代は、日本全体が混乱期から高度成長へと発展する激動の時代でした。私の出身地である新潟県内は地方らしく勢いは緩やかでも、貧しさから脱しつつ明るい未来に向けて動き出していました。

中学時代、少年雑誌付録の手製カメラから撮り始め、本格的35mmカメラを手にした高校時代からは郷里新発田の市街に出て暮らしのさまざまなシーンをスナップし、カメラ店の月例会への出品から、カメラ雑誌のコンテストへ応募するようになり作画活動に拍車がかかりました。それらが時代の証となったのです。

そして半世紀経った2006年、地元新聞「新潟日報」に企画申請したところ、テーマで括りながら隔月1週間ずつの連載という形で発表することになったのでした。それは翌年にまたがり、新発田から新潟に手を広げ57回に亘りました。連載中から好評を博しましたが、終了後は単行本化を望む声が多く寄せられ、この程新潟日報事業社より、写真点数をプラスの上相応の加筆を施し出版されました。版式は23.9×18.9cmの縦型で、カバーは4色、本文は130頁、写真65カットの鮮鋭なモノクロ刷りで税込み1,470円です。

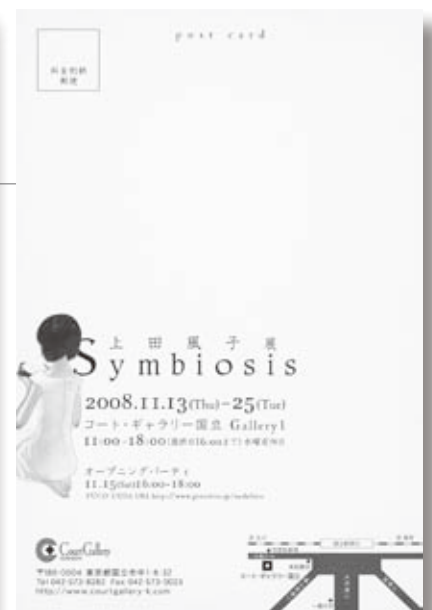
2008年11月 大竹静市郎

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-1070

(株)ホーム企画 TEL・FAX 03-3379-4140

上田風子 (76期)

上田風子展
Symbiosis

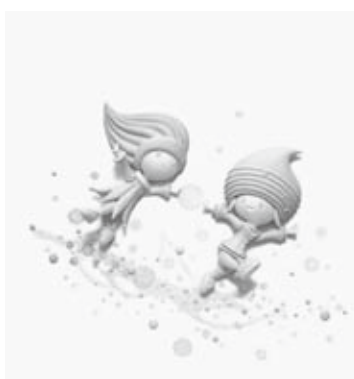


藤井覚歩 (82期)

フジイカクホ個展 夢見る時間 作品はカラーです



ホワイト・ツリー



虹色のワルツ



開催予告

皆様、寒い季節が参ります。お元気にご活躍の事と存じますが、[木村先生を囲む会]を、開催いたします。

当日、六本木ヒルズにて、木村先生にご案内頂き、先生の教え子達の卒展を見学予定ですので、15時~デザイン学科のブースを覗いてください。その後会場へ木村先生引率にて会場へお越しください。

皆様仲間に声を掛け合って、お誘い合わせご出席ください。

『木村先生を囲む会』46期写真科卒 集合！

日時：2009年2月21日(土) 18時~21時

会場：at (住友三角ビル49F) 03-3342-1045

会費：¥7,000-

◎《木村先生と卒展ツアー》デザイン学科・・・木村先生を捜せ

集合時間・場所：15時~六本木ヒルズ・アカデミーヒルズ40

下車駅：日比谷線・都営大江戸線一六本木駅

詳しくは・・・当日看板を持った学生がおります。

お問合せ、お申込先：(新井俊江・03-5817-0178) まで・・・

常に留守電になっておりますので、メッセージをお願いいたします。

また、緊急連絡先は、(富野真弓・090-3141-1910)・(大西雅明・03-3990-3231) 他、北田・井上まで

写大写真科46期 技術科5研 北田英治

『チベット高原の子どもたち 自然と暮らし』

日時：2009年1月7日~12日 10時~18時

場所：練馬区立美術区民ギャラリー・一般展示室

(西武新宿線 中村橋駅下車)

広報委員会から 各支部長殿へのお願い

広報委員会では、各支部長殿に年3回発行予定の同窓会報「ひろば」の紙面に、各支部の様子や企画、計画案、それに限らず他の件（ご当地や観光地の案内、祭り、知り合いの同窓生が受賞されたとか、ご当地で作品展をされたとか、支部のPRの記事等）を「支部だより」の紙面に掲載し、新会員方々に紹介や支部の所在と意識を持っていただくために、支部の方々に広報委員から原稿依頼をさせていただきます。ご多忙のところ誠に申し訳ございませんが、原稿依頼を受けた支部長殿には期限内に担当者宛に郵送（またはメール添付にて）して戴けるようお願いいたします。

なお編集会議では予定のスペースを空けて待機し、発行予定月度内に全国約17,000名の同窓生のお手元に届くよう努めております。是非ともご理解ご協力戴けるようお願い申し上げます。

広報委員長 中村正彌（34期）

原稿送付先：〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5東京工芸大学同窓会 福村 敏（45期） email：binfuku@dsn.t-kougei.ac.jp

訃 報（敬称略）

吉川 享（第8期）	芳澤 昭（第23期・写真工業科）	市川 秀二郎（第33期・写真工業科）
鈴木 良蔵（第10期・写真芸術科）	内田 栄恒（第24期・写真技術科）	斉藤 雄恒（第33期・写真工業科）
曲 瀧 達丸（第10期・写真芸術科）	城戸 耕一（第24期・写真工業科）	鶴田 正和（第33期・写真工業科）
小坂 恭（第13期・写真芸術科）	柳下 庄司（第24期・写真工業科）	大沢 豊子（第34期・写真技術科）
原田 孝之助（第13期・写真芸術科）	千星 路郎（第26期・写真技術科）	日下 晴夫（第34期・写真技術科）
松本 達也（第13期・写真理学科）	村井 俊雄（第26期・写真技術科）	竹内 英彦（第36期・写真技術科）
謝 金 俊（第14期・写真芸術科）	大橋 克介（第26期・写真工業科）	石井 莊太郎（第36期・写真工業科）
浦木 明（第14期・写真理学科）	九山 時夫（第26期・写真工業科）	森田 哲郎（第36期・写真工業科）
小保方 友夫（第14期・写真理学科）	嶋 定義（第26期・写真工業科）	大滝 正（第37期・写真技術科）
岡村 義章（第14期・写真理学科）	助川 光子（第26期・写真工業科）	橋 幹雄（第37期・写真技術科）
中村 信俊（第16期・写真芸術科）	丸山 時夫（第26期・写真工業科）	森 昭（第37期・写真技術科）
中西 篤人（第16期・写真理学科）	藤川 清（第27期・写真技術科）	近藤 博司（第39期・写真印刷科）
角田 匡（第17期・写真芸術科）	越田 丞治（第27期・写真技術科）	岡崎 博明（第40期・写真工業科）
妹尾 信水（第17期・写真理学科）	牧野 晃（第27期・写真技術科）	庭本 嘉明（第40期・写真印刷科）
毛利 純三（第17期・写真理学科）	今井 琉眉子（第27期・写真工業科）	深沢 敏明（第41期・写真技術科）
山田 喜康（第17期・写真理学科）	川端 幸子（第28期・写真技術科）	小谷 晶弘（第41期・写真技術科）
横山 真一（第17期・写真理学科）	大内 紳三郎（第28期・写真工業科）	宅田 行寛（第43期・写真印刷科）
阿部 正哉（第18期・写真芸術科）	清木 真一（第28期・写真工業科）	渡辺 陽子（第46期・写真技術科）
山縣 栄一郎（第18期・写真芸術科）	野村 陽一（第29期・写真技術科）	清水 正美（第46期・写真技術科）
山本 静夫（第18期・写真芸術科）	清家 邦雄（第29期・写真工業科）	荒沢 克行（第46期・写真技術科）
須藤 大俊（第18期・写真理学科）	吉越 立雄（第30期・技術科）	大竹 清賢（第46期・写真印刷科）
林 二郎（第18期・写真理学科）	石原 守孝（第31期・写真技術科）	奥山 純章（第47期・写真技術科）
米本 雅信（第18期・写真理学科）	早川 洋司（第31期・写真技術科）	岡田 啓吾（第60期・写真技術科）
前田 朋行（第20期・写真芸術科）	山崎 政之（第31期・写真技術科）	福富 修（第60期・写真応用科）
益永 基（第20期・写真理学科）	加治 邦夫（第31期・写真工業科）	鈴木 隆一郎（第62期・写真技術科）
島田 淳（第21期・写真化学工業科）	相関 真一（第32期・写真技術科）	遠山 貴世志（第64期・写真技術科）
杉山 直継（第21期・写真化学工業科）	津田 広（第32期・写真工業科）	若林 努（第81期・写真技術科）
岡川 和夫（第23期・写真技術科）	綿谷 卓美（第33期・写真技術科）	

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。例年の行事で、お正月は家族で旅行に出掛けておりましたが、今年の元旦は、子供が受験のため久しぶりに家で過ごしました。元旦の朝は、新たな気持ちで目覚め、昨日とは違う澄み切った空気を感じています。昨年、日本経済もあまり明るい話題が聞こえてきませんでしたが、新たな年を迎え、気分一新で頑張りましょう。同窓生の皆様方には健康に十分留意されまして、この一年良い年でありますよう心から祈念いたします。さて今年も2月20日（金）21日（土）22日（日）の3日間、芸術学部卒業・大学院修了制作展2009が、六本木アカデミーヒルズ40と中野キャンパス芸術情報館で開催されます。是非、足をお運び頂き、皆様に学生の作品をご覧頂きたいと思っております。広報委員会も「ひろば」の発行と「ホームページ」の運営に頑張っていきます。楽しい話題などがありましたらどしどしお寄せください。

記：広報委員 糸賀成永（56期）